



ESTELLE

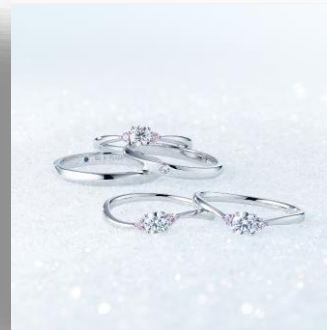
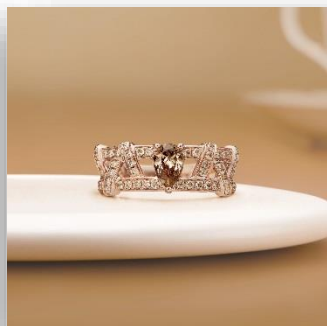
第62期(2020年3月期) 第2四半期決算説明資料



2019年12月

証券コード:7872 東証1部

エステールホールディングス株式会社



2020年3月期 第2四半期決算概要

1. 第2四半期決算ハイライト
2. 第2四半期決算サマリー
3. 連結損益計算書の概要
4. 既存店売上高の動向(As-meエステール単体ベース)
5. 連結貸借対照表の概要
6. 財務の状況
7. キャッシュフロー計算書の概要
8. 店舗展開の状況
9. 通期業績予想(連結)
10. 配当実績と予定

1. 第2四半期 決算ハイライト

(単位:百万円)

	2018/9 (前第2四半期)	2019/9 (当第2四半期)	前年同期比 増減率
売上高	15,652	16,209	3.6%
営業利益	280	743	165.1%
経常利益	247	710	187.3%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	△70	305	-

2. 第2四半期 決算サマリー

当第2四半期連結累計期間の売上高は、食品販売・飲食店事業の寄与などにより、前年同期比3.6%増となりました。また、不採算店の圧縮などによる販売費の減少もあり、営業利益、経常利益ともに前年同期比で増益となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、不採算店の減損損失の計上などもありましたが増益となりました。

- 売上高は前年同期比3.6%増。売上高総利益率は△0.5ポイント低下。
売上総利益は同2.8%増。
- 営業利益は、販売費の減少もあり前年同期比165.1%増の743百万円を計上。
- 経常利益は、主に海外子会社での為替差損の計上もありましたが、710百万円を計上。
親会社株主に帰属する四半期純利益は、305百万円の利益。

3. 連結損益計算書の概要

(単位:百万円)

	2018/9 (前期)	2019/9
売上高	15,652	16,209
売上原価	6,014	6,304
売上総利益	9,638	9,904
販管費	9,358	9,161
営業利益	280	743
営業外損益	△33	△33
経常利益	247	710
特別損益	△130	△152
親会社株主に帰属する 四半期純利益	△70	305

【主な収益変動要因】

■売上高は、前年同期比3.6%増加
個人消費は、企業業績や雇用環境の改善傾向が継続し、回復基調で推移しました。また、消費税増税前の駆け込み需要等により、売上高は+556百万円の増加、売上総利益率は61.1%と前年同期(61.6%)より△0.5ポイント低下しましたが、売上総利益は同+266万円増加となりました。

■販管費は、宝飾品事業の不採算店舗の圧縮とコスト削減に努めることにより、前年同期比△2.1%減の△197百万円減少。主な経費項目の増減は、人件費△132百万円、租税公課△69百万円、福利厚生費△21百万円、修繕費△12百万円、家賃等+26百万円、クレジット手数料+21百万円など。

■営業利益は、前年同期比+463百万円増加。売上高営業利益率は4.6%。

■営業外損益は、前年同期とほぼ同額でしたので、経常利益は710百万円となりました。

■特別損失の主なものは、不採算店の減損損失が143百万円。
■親会社株主に帰属する四半期純利益は、法人税等の計上もあり305百万円となりました。

4. 既存店売上高の動向 (As-meエステル単体ベース)

既存店売上高増減率(前年同期比)

	上期	下期	通期
2018/3	101.3%	102.1%	101.7%
2019/3	101.4%	99.8%	100.5%
2020/3	104.5%		

5. 連結貸借対照表の概要

(単位:百万円)

	2019/3 (前期末)	2019/9
流動資産	25,134	26,802
固定資産	8,536	8,372
資産合計	33,670	35,175
流動負債	11,433	11,547
固定負債	8,505	9,901
負債合計	19,939	21,449
株主資本合計	13,634	13,665
その他の包括利益 累計額合計	44	10
純資産合計	13,731	13,725
負債純資産合計	33,670	35,175

【 主な財政状態の変動要因 】

■流動資産は前期末比+1,668百万円の増加。主な科目の増減は、現預金+1,490百万円、棚卸資産が+246百万円の増加。売掛金が△166百万円の減少となった。

■固定資産は前期末比△163百万円の減少。敷金・保証金が△77百万円の減少と有形固定資産△49百万円の減少およびのれんの償却△28百万円減少したことが主因。

■この結果、総資産は+1,504百万円の増加。

■負債合計は、前期末比+1,509百万円の増加。主な増加要因は、借入金の増加が+1,493百万円、事業損失引当金+78百万円、支払手形及び買掛金が20百万円。

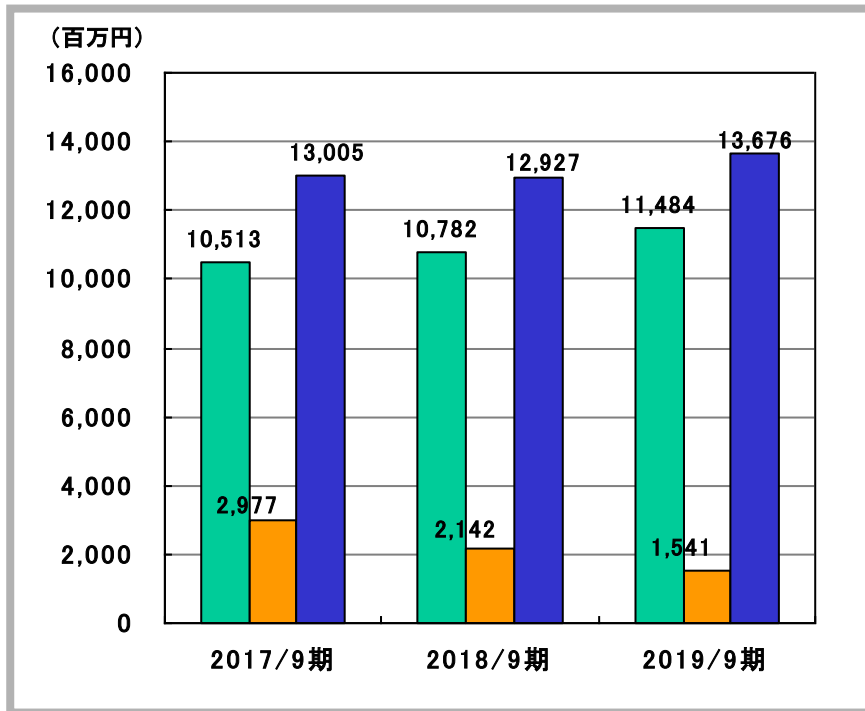
一方減少は、未払法人税△141百万円、退職給付に係る負債が△18百万円、賞与引当金△29百万円減少したことが主因。

■純資産は、前期末比△5百万円減少。主な要因は、四半期純利益+305百万円、配当金の支払△286百万円などにより、利益剰余金が+30百万円増加した事による。自己資本比率は、38.9%。

6. 財務の状況

■ ネット借入金と自己資本の推移

借入金 ネット借入金 自己資本



●借入金は減少、現預金を控除したネットの借入金は10億円台に減少。

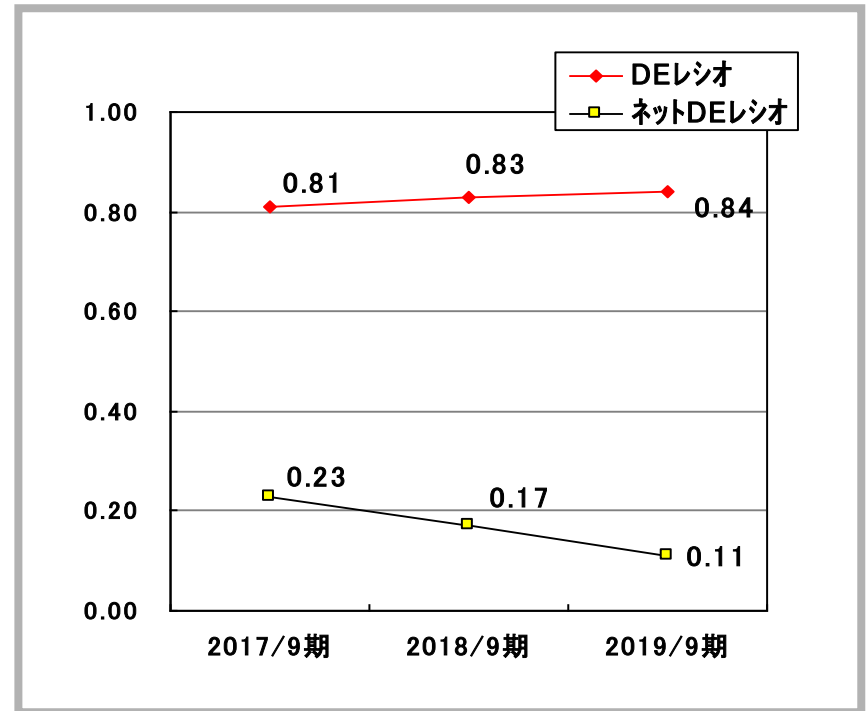
(ネット借入金 = 借入金 - 現預金)

(自己資本 = 株主資本 + その他の包括利益累計額)

■ ネットDEレシオの推移

DEレシオ = 借入金 ÷ 自己資本

ネットDEレシオ = (借入金 - 現預金) ÷ 自己資本



●借入金の減少、自己資本の増加を受けDEレシオも0.8台前半へ
ネット借入金ベースでは0.11へ。

7. キャッシュフロー計算書の概要

(単位:百万円)

	2018/9 (前期)	2019/9
営業活動による キャッシュフロー	564	696
投資活動による キャッシュフロー	△286	△354
財務活動による キャッシュフロー	645	1,206
現金及び現金同等物 の増減額	919	1,543
現金及び現金同等物 の期末残高	8,597	9,879

【主なキャッシュフローの内容】

【営業活動CF】

(資金増加要因)

税金等調整前四半期純利益 560百万円
減価償却費 308百万円
売上債権の減少 166百万円
その他の流動資産・負債等のその他 205百万円 など

(資金減少要因)

法人税等支払額 375百万円
たな卸資産の増加 246百万円
未払金の減少 14百万円
以上により営業活動CFは 696百万円 の増加。

【投資活動CF】

(収入)

敷金保証金の返還 65百万円

(支出)

新規出店、改装等の固定資産の取得 340百万円
敷金保証金の差入 48百万円
投資その他資産の支出 31百万円など
以上により投資活動CFは 354百万円 の支出。

【財務活動CF】

(収入)

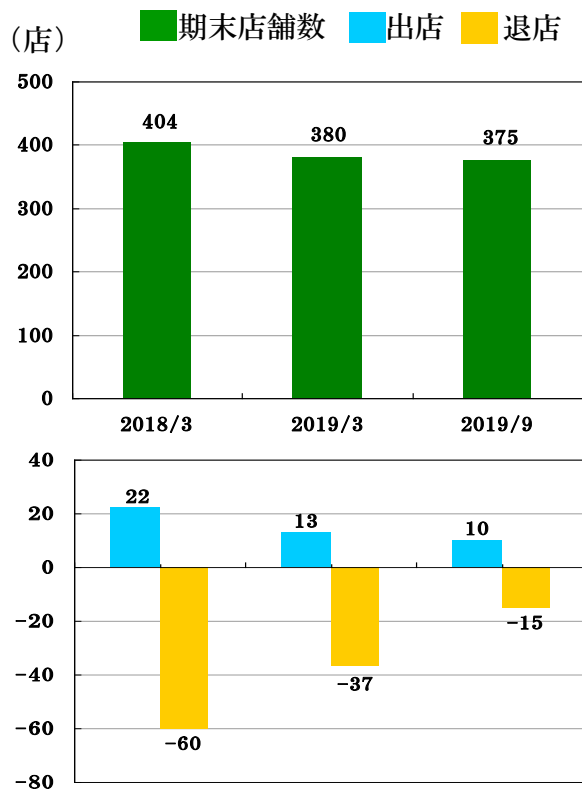
長期借入金の増加 1,493百万円 (純額)

(支出)

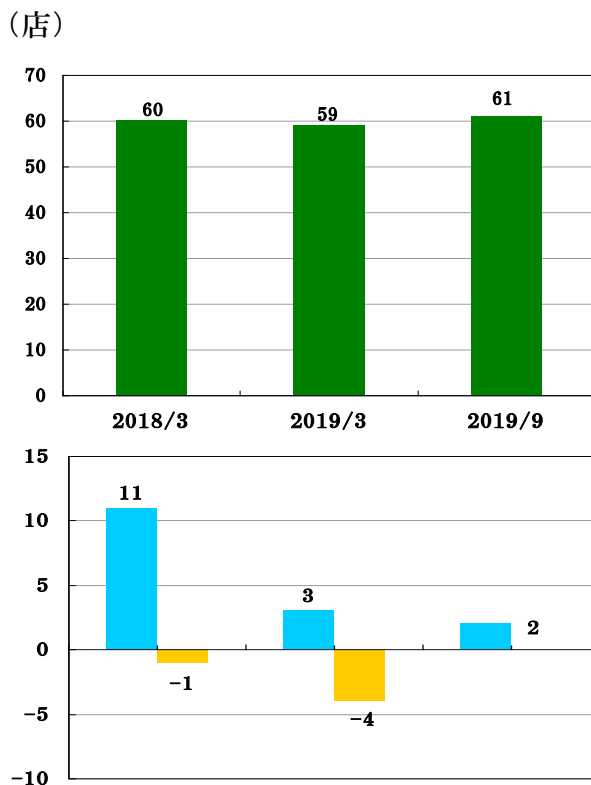
配当金支払 286百万円
以上により財務活動CFは 1,206百万円 の収入。

8. 店舗展開の状況

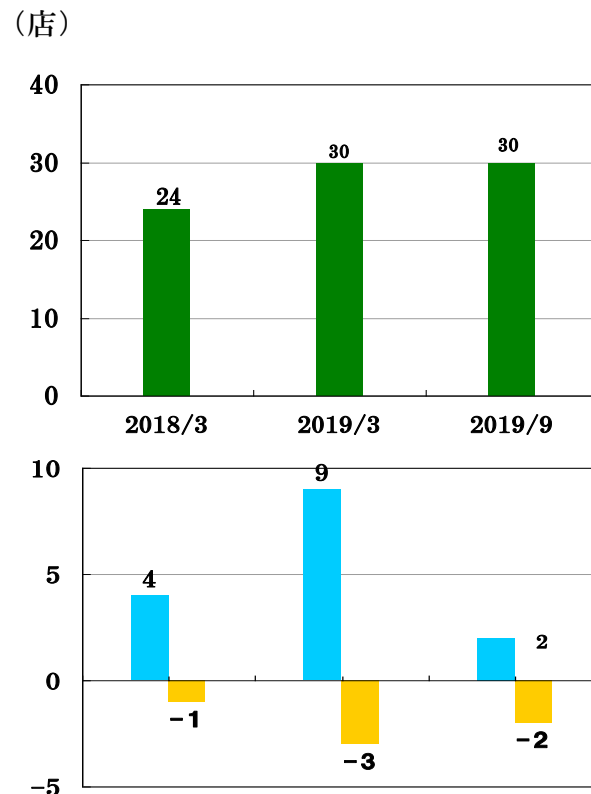
宝飾専門店 『As-meエステール』



メガネ専門店 『キンバレー』



食品販売・飲食店 『ウイレッジウァンガードブレース』



(注1) As-meエステールが2018年3月に吸収合併した(株)BLOOMの店舗数は、As-meエステールに含んでおります。

(注2) As-meエステールは上記の他に11店舗でブランド展開(コーナー名「タンジェ」「グッドネス」)

(注3) 宝飾品海外店舗は以下の通り

・ベトナム：ハノイ(3) ハイフォン(1) ホーチミン(2) ・カンボジア：プノンペン(2)

9. 通期業績予想(連結)

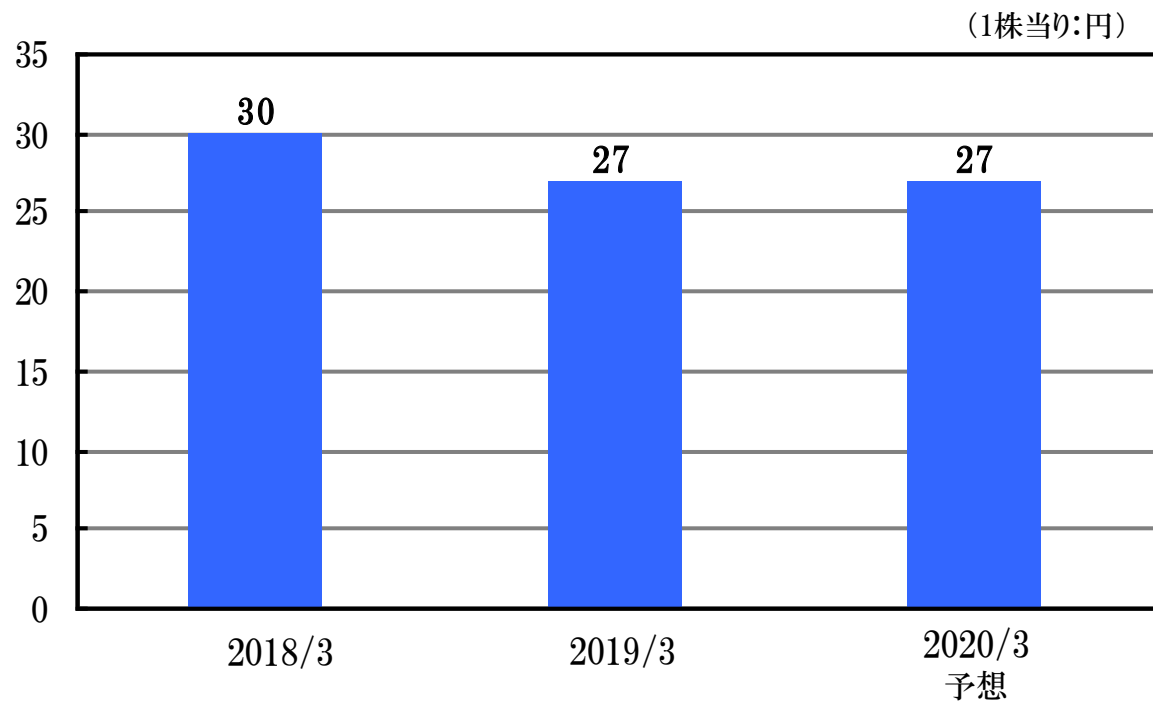
(単位:百万円)

	2019/3	2019/3 (業績予想)	前期比 増減率
売上高	32,504	31,430	△3.3%
営業利益	1,370	1,395	1.8%
経常利益	1,343	1,365	1.6%
親会社株主に 帰属する 当期純利益	686	690	0.4%

■売上高は、宝飾品事業では不採算店舗の整理、消費税増税の影響により減少しますが、食品販売・飲食店事業の寄与などにより、前年同期比△1,074百万円(△3.3%)減を見込んでおります。

■「顧客層の拡大」に向けた諸施策を引き続き展開するとともに、多様化するお客様のニーズに対応するため、アクセサリーからジュエリーまで魅力的な商品展開を強化し、お客様から信頼される店舗運営に取り組み営業基盤の充実を目指します。また、眼鏡事業や食品販売・飲食店事業についてもグループの柱として収益力強化に取り組み、販売促進・営業企画に力点を置いたメリハリのある経費配分と経営管理体制の強化を行ないます。以上の施策により、前年同期比で営業利益1.8%増、経常利益1.6%増、親会社株主に帰属する当期純利益は0.4%増を見込んでおります。

10. 配当実績と予定



2018年3月期は、普通配当を3円増配の27円、会社設立60周年記念配当3円を追加して1株あたり30円の期末配当をお支払いしました。

2020年3月期は、普通配当として27円を予定し、株主様への還元に心がけてまいります。

【お問い合わせ先】

エステールホールディングス株式会社
管理本部

TEL：03-5777-5120

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。本資料における将来予測に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用下さい。当社は、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めてまいります。当資料記載の業績見通しのみ全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えになられるようお願い致します。なお、いかなる目的であれ、当資料を無断で複製、または転載などを行われないようにお願い致します。